

Java7のインストールとセキュリティー設定

2015-03-21 改定 三宅 節雄

皆さんのホームページに動画風に作った Java を使用するプログラムは、Java のセキュリティーを下げないと、そのままでは Java7では動作しません。

また Java8では、動作するレベルまでセキュリティー設定を下げる事ができず、動作しません。

1. バージョンの確認

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で Java のバージョンを確認します。Java7 の場合には「Java7 Update75」の様に表示されています。

Java7の場合は、上記の表示を閉じて[5. セキュリティーの設定](#)へ進んで下さい。

2. Java8の場合はそのまま Java8をクリックしてアンインストールします

3. Java7 のインストール

(1)下記をクリックします。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/jdk7-downloads-1880260.html>

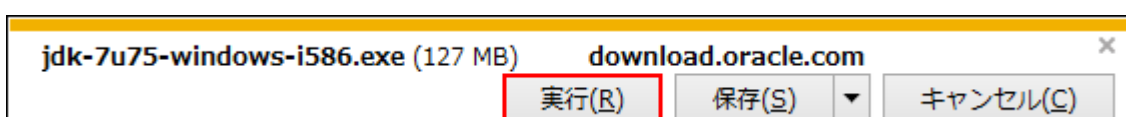
(2)このページに記載されている下記の画面で Accept License Agreement にチェックをいれます

Java SE Development Kit 7u75		
You must accept the Oracle Binary Code License Agreement for Java SE to download this software.		
<input checked="" type="radio"/> Accept License Agreement <input type="radio"/> Decline License Agreement		
Product / File Description	File Size	Download
Linux x86	119.43 MB	jdk-7u75-linux-i586.rpm
Linux x86	136.77 MB	jdk-7u75-linux-i586.tar.gz
Linux x64	120.83 MB	jdk-7u75-linux-x64.rpm
Linux x64	135.66 MB	jdk-7u75-linux-x64.tar.gz
Mac OS X x64	185.86 MB	jdk-7u75-macosx-x64.dmg
Solaris x86 (SVR4 package)	139.55 MB	jdk-7u75-solaris-i586.tar.Z
Solaris x86	95.87 MB	jdk-7u75-solaris-i586.tar.gz
Solaris x64 (SVR4 package)	24.66 MB	jdk-7u75-solaris-x64.tar.Z
Solaris x64	16.38 MB	jdk-7u75-solaris-x64.tar.gz
Solaris SPARC (SVR4 package)	138.66 MB	jdk-7u75-solaris-sparc.tar.Z
Solaris SPARC	98.56 MB	jdk-7u75-solaris-sparc.tar.gz
Solaris SPARC 64-bit (SVR4 package)	23.94 MB	jdk-7u75-solaris-sparcv9.tar.Z
Solaris SPARC 64-bit	18.37 MB	jdk-7u75-solaris-sparcv9.tar.gz
Windows x86 32ビット用	127.8 MB	jdk-7u75-windows-i586.exe
Windows x64 64ビット用	129.52 MB	jdk-7u75-windows-x64.exe

(3)Windows の OS が 64bit でもインターネットエクスプローラは 32bit となっていると思います。従って赤で囲んだ方をクリックして下さい。

(4)クリックすると

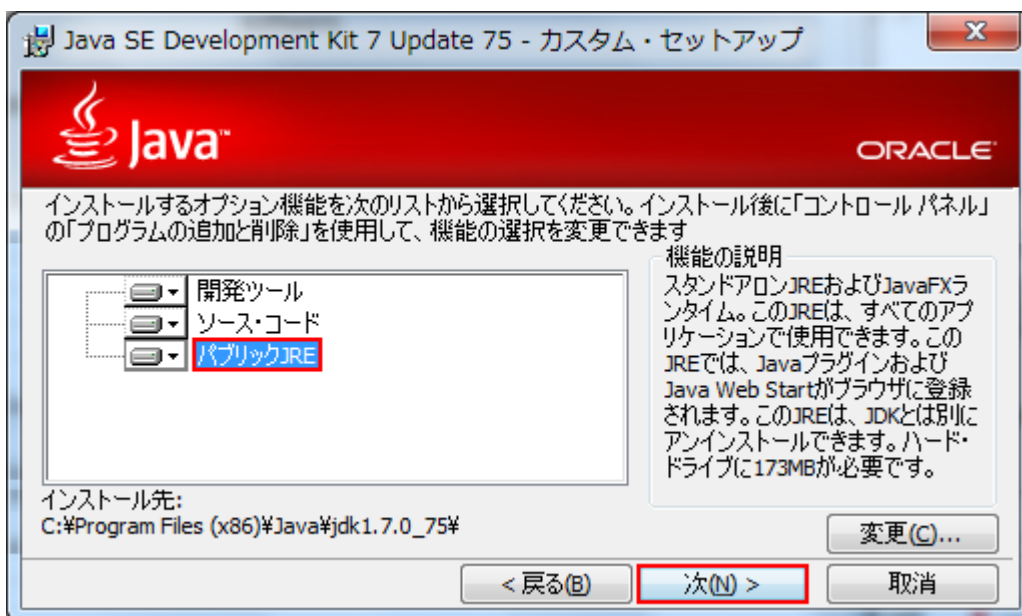
実行か保存かと聞いてきます。ここでは実行を選択します。



途中で1回実行の許可を求めてきますが実行します。
その後下記表示になりますが次をクリックします。



次に下記表示になりますがパブリック JRE を選択して次をクリックします。
後で余分なものをアンインストールします。



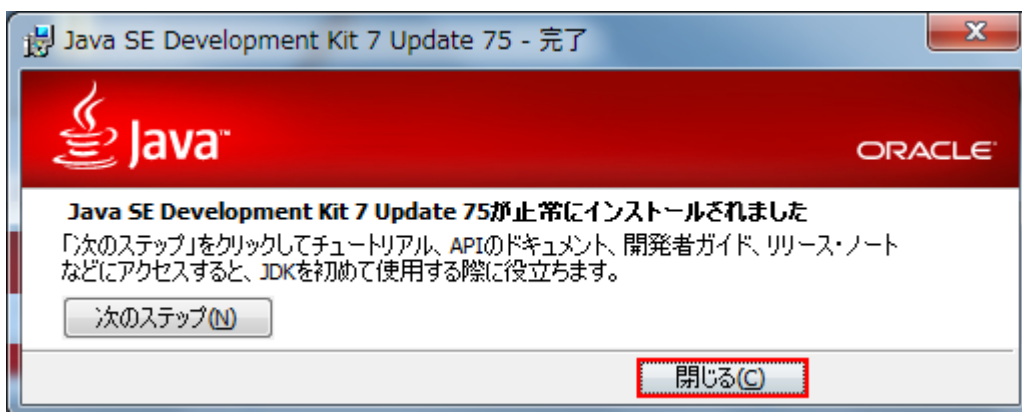
これでインストールの横棒グラフが伸びてきますが、下記画面が裏に出てきてインストールが中断されている事が有りますので確認して次をクリックします。



次の画面でしばらくかかります。



下記の表示が出たらインストールは完了です。
次のステップではなく閉じるをクリックします。



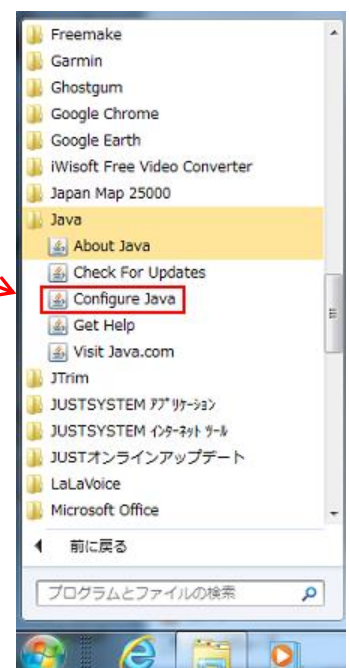
4. 余分な物をアンインストール

「スタート」→「コントロールパネル」から「プログラムと機能」または「プログラムのアンインストール」を選択します。

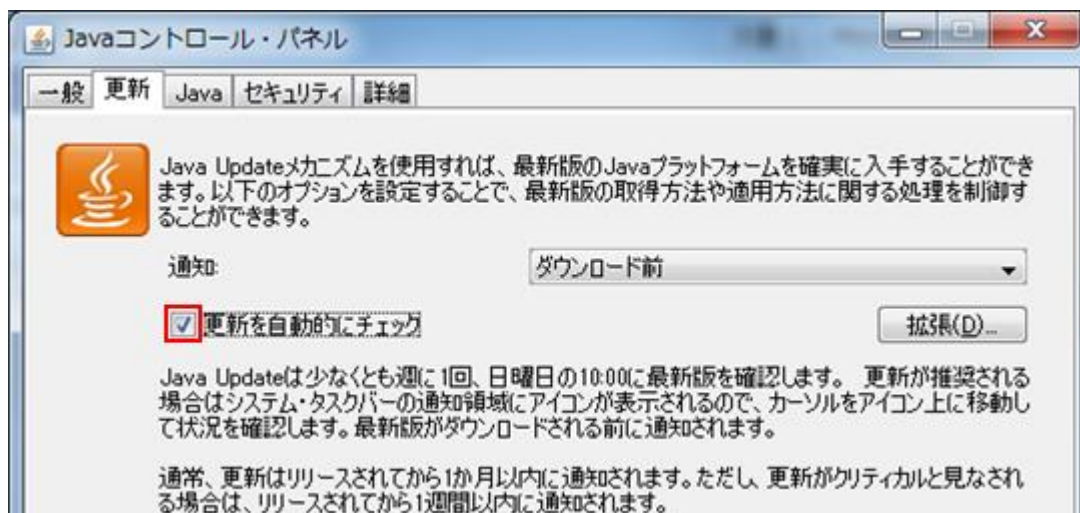
「Java 7 Update 75」だけあればよいのですが、「Java SE Development Kit Update 75」があった場合にはこれを選択してアンインストールをクリックしてアンインストールします。223MB 消えます。

5. セキュリティーの設定

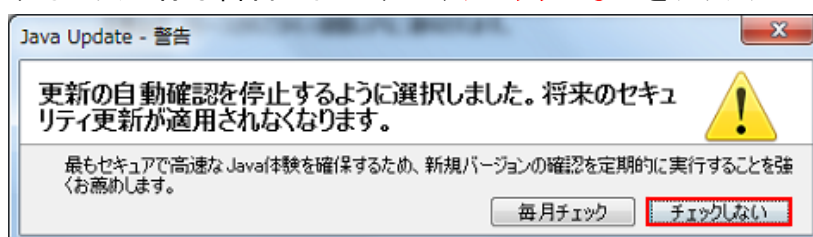
(1)「スタート」→「すべてのプログラム」→「Java のフォルダー」をクリックして Configure Java をクリックします。



(2)更新のタブで、「更新を自動的にチェック」のを外します。→[更新を自動的にチェックさせない設定](#)

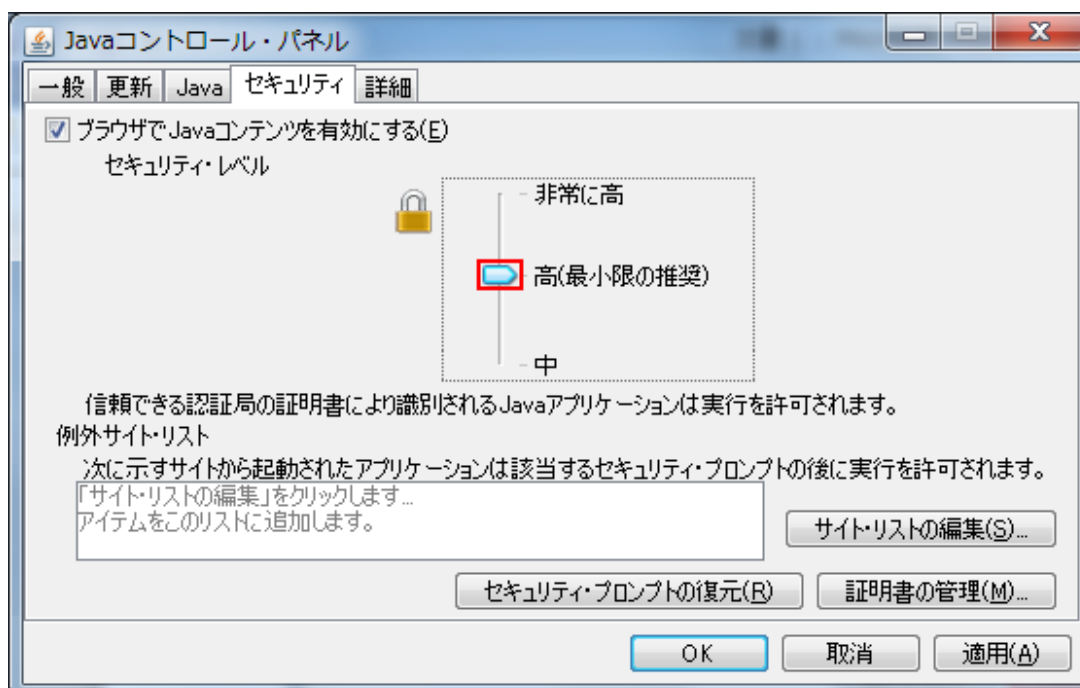


すると次の様な警告が出ますが、**チェックしない**をクリックします。



(3)セキュリティータブをクリックします。

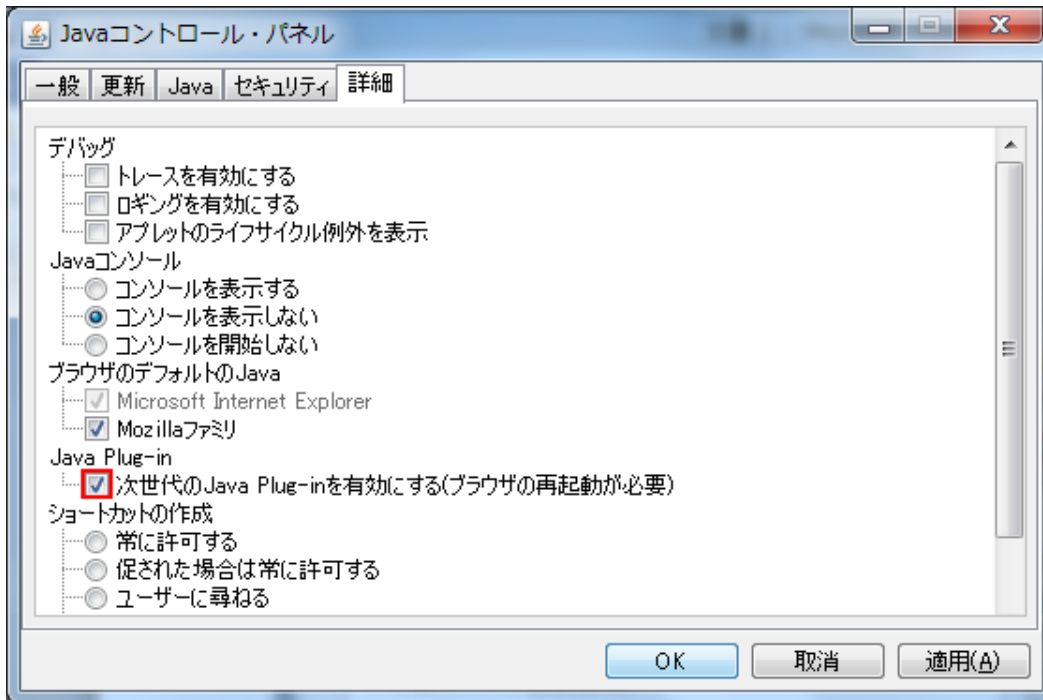
赤四角で囲んだスライダーをドラッグして**一番下まで下げます**。



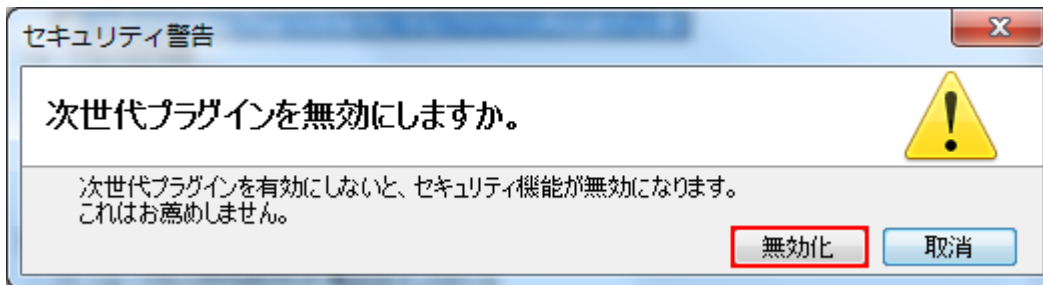
これで Web 上にアップされたものに対しては問題なく動作しますが、自分の PC 内のホームページデータはエラーで動きません。但しアップしたものはちゃんと動作します。(アップしないと動作が確認できない)

(4) **自分の PC 内のホームページのデータの動作確認をする場合**の設定

詳細のタブで下記に赤で囲んだ「次世代の Java Plug-in……」の **☑**を外します。

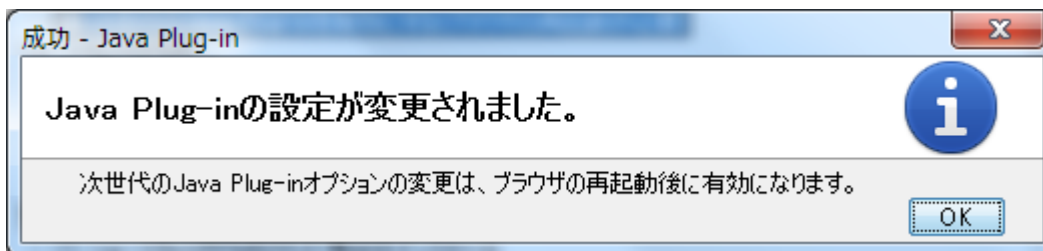


チェックを外すとまた次のような警告が出ますが、**無効化をクリック**します。



「適用」をクリックすると確認画面が出ますが次へ進みます。

更に下記画面が出ますが OK をクリックします。



更に OK をクリックすれば終了です。

注: 但しこの Java Plug-in を無効にすると PC の動作が不安定になりますから、自分の PC での動作確認後(通常)は、有効に☑を入れておく必要があります。

更新を自動的にチェックさせないとした場合にも自動的にチェックしてしまいます。自動的にチェックさせないためには、下記設定を実施して下さい。

[更新を自動的にチェックさせない設定](#)